

J Rの業務外注化と非正規雇用化に反対するニュースです。感想や意見、現場の情報をお寄せ下さい。info@doro-shien.site

## 喜勢社長 事故続発 で会見

# 外注化・融合化・コスト削減 の開き直りは許されない！

2月10日、喜勢社長は定例会見の内容を変更し、この間の事故・輸送トラブルについて謝罪と説明を行いました。  
今後の取り組みとしては、作業手順の見直し、技術系社員採用の約150名増加、コロナ禍で削減（3年間で約800億円）した修繕費の増額、グループ・パートナー会社の処遇改善などを挙げました。

### 開き直りと責任転嫁の会見

会見で喜勢社長は、一見「謝罪」「反省」しているような言い回しをした。しかしその中身は、ずっと「経営判断（外注化やコスト削減等）は間違っていないかった」という開き直りと責任転嫁を続けています。



まず、「事故原因はそれぞれ個別のもの」「修繕費抑制が原因ではない」「モニタリングはきちんと行っていた」「人為的なミスが原因」などと語っています。

修繕費の削減について



共同通信が  
Youtubeで  
会見を報道

も、「やむを得なかった」「最低限の安全レベルは守った」「安全をおろそかにしていない」と完全に正当化しました。そして結局、「800億円を金額で取り戻すという話ではない」と回答しました。

ミスが連続した背景事情を問われた際、「今後の取り組みで挙げた点が背景事情」といいながら、「グループ・パートナー会社の処遇が良くないということか」と問われても直接答えず、認めませんでした。

### ただちに外注化・融合化撤回を

とりわけ、あくまで外注化を前提に、「JR本体からグループ・パートナー会社に向向して技術習得」「将来仕事があるか分からなければ、グループ・パートナー会社が鉄道事業から仕事を移してしまうから中長期的な計画を共有」「グループ・パートナー会社のベテラン、技術ある皆さんの雇用を維持しなければいけない」などと語っていることは本当に許せません。

これだけ事故・トラブルを続発させておきながら、まったく責任を取ろうとしていません。外注化、業務融合化、コスト削減を現場に強制して、安全を崩壊させたのは誰なのか。何よりも、すべての外注化・融合化を撤回するのが当然です。